

平成24年12月 定例教育委員会

日 時 平成24年12月21日（金） 13時45分～

場 所 市役所11階 研修室

出席者

（教育委員）

浅井委員長 久田委員 徳勝委員 深町委員 永元教育長

（事務局）

中島教育次長兼学校教育課長 蓮田教育次長 大藤総務課長

山田総合教育センター長兼教育センター所長 鎌田社会教育課長 吉川スポーツ振興課長

川口総合教育センター課長 渡辺図書館長 田口青少年教育センター所長

濱野公民館政策課長 吉永総務課副主幹兼庶務係長 松尾総務課主査

(1) 委員長報告

(2) 教育長報告

(3) 議題

① 佐世保市教育委員会公印規則の一部改正の件

(4) 報告事項

① 平成25年成人式典の開催について

② 文化財の登録に係る答申について

③ 史跡 福井洞窟発掘調査の中間報告について

④ 第63回小柳賞佐世保シティロードレース大会（1/13）の開催について

⑤ 江迎中学校校舎改築計画について

(5) その他

① 次回日程調整等

◆ 新教育委員紹介

平成23年12月議会において、教育委員の人事案件が議決された。本日オブザーバーとしてご出席されているため、事務局側に紹介を行ったもの。

◆ 議事要録確認

・ 平成23年11月 定例教育委員会議事要録

・ 平成23年11月 定例教育委員会議事要録（秘密会部分）

事務局提案どおり了承。

秘密会を除く議事要録については、本会終了後、速やかに佐世保市ホームページに掲載することとなった。

◆ 委員長報告

- 11月19日 平成23年度第53回佐世保市学校保健研究大会
- 11月21日 佐世保市永年勤続及び教育功労表彰式
- 11月22日 早岐小学校研究発表（委員長は欠席だが、他委員の出席有）
- 11月24日 日野中学校研究発表
- 11月25日 本会議（開会日）
- 11月27日 佐世保市少年科学館発表会
- 11月28日 本会議
- 12月 1日 本会議（一般質問）
- 12月 3日 佐世保市教育会懇談会（広田地区）
- 12月 4日 下村脩ジュニア科学賞表彰式
- 12月 6日 本会議（一般質問）
- 12月 7日 佐世保市文教厚生委員会
- 12月13日 叙勲褒章祝賀会
- 12月14日 本会議（最終日）

◆ 教育長報告

冒頭に、新教育委員任命の議案にあたって、議会が満場一致で賛成だったという報告を行った。

また、市政懇談会、総合計画改定作業、新年度予算編成作業に着手した旨の報告を行った。

- 11月15日 市政懇談会（針尾地区）
- 11月16日 花高小学校B訪問、青少年問題協議会
- 11月17日 三川内小学校B訪問、佐世保市PTA連合会要望に対する回答
- 11月18日 小佐世保小学校B訪問
- 11月19日 長崎国際マラソンinハウステンボス開会式、早岐地区文化祭
平成23年度第53回佐世保市学校保健研究大会、同懇親会
- 11月20日 日宇地区文化祭、日野中学校創立70周年記念講演会
- 11月21日 経営戦略会議（総合計画）、佐世保市永年勤続及び教育功労表彰
- 11月22日 早岐小学校研究発表
- 11月23日 語らいの広場
- 11月24日 日野中学校研究発表、学校図書館づくり研修会
- 11月28日 職員組合との協議
- 11月29日 市政懇談会（南地区）
- 11月30日 職員組合との協議
- 12月 1日 本会議（一般質問）
- 12月 2日 本会議（一般質問）
- 12月 3日 佐世保市教育会懇談会（広田地区）
- 12月 4日 下村脩ジュニア科学賞表彰式

- 12月 5日 本会議（一般質問）
- 12月 6日 本会議（一般質問）
- 12月 7日 佐世保市文教厚生委員会
- 12月13日 叙勲褒章祝賀会
- 12月14日 本会議（最終日）
- 12月18日 世知原小学校校舎落成記念式典

◆ 委員長報告・教育長報告に関する質疑・意見等

【教育長】 補足がある。先般、協議事項として計上した生涯学習センターの今後について、事務局から補足させる。

【事務局】 生涯学習センター、地区公民館の再編の考え方について、行政センターにあわせ地区協議会に説明する予定となっている。

教育委員会としては、まず、社会教育委員の会議で説明を行った。明日、公民館運営審議会で説明し、今週、合併地域の3地区協議会に説明に行った。

【委員】 合併地域における反応はどのようなものであったか。

【事務局】 世知原地区協議会からは2人の委員から意見が出た。他の2地区についてはなかった。

◆ 議題

【委員長】 それでは議題の審議に入る。事務局の説明を請う。

【事務局】 議題①「歴史教育副読本「ふるさと歴史めぐり」（第5版）の表紙絵選定の件」の説明

- ・ 表紙絵候補選定について、歴史教育副読本研究会での協議の結果、5作品を推薦。
- ・ 推薦内容は、最優秀賞1作品、優秀賞4作品

【委員長】 事務局から、最優秀作品候補1作品、優秀作品候補が4作品ということであるが、委員各位のご意見は如何か。

【委員長】 最優秀作品候補は、針尾の無線塔をあらわしているのか。

【事務局】 そうである。

【教育長】 江迎・鹿町との合併の時期はいつだったか。

【事務局】 平成22年度である。

【委員長】 前回は、どのような表紙絵であったのか。

【事務局】 宇久の文化財であった。

【教育長】 合併地域への配慮が必要とならないのだろうか。

【委員長】 応募については、学校ごとに偏りがあるのか。

【事務局】 ある。全く提出されていない学校もある。地域によっては、同じ題材を使っているという学校もある。

【委員】 これまでは、建物が多かったが、人が躍動しているものを表紙絵とすることで、元気がでるとい感じがする。

【委員】 最優秀候補作品として推薦した研究会に配慮しなくてよいのか。

【事務局】 あくまで推薦であって、様々なことを加味しご協議いただくものであるので、その点は心配ない。

【委員長】 各委員からご意見がでたようであるが、人が躍動している点など、作品も優秀である。千灯籠祭りをモチーフにした題材を表紙絵として決定することでよいか。

～ 異議なし ～

【委員長】 続いて協議事項の審議に入る。事務局からの説明をお願いします。

【事務局】 協議事項①「佐世保市図書館協議会委員の任命基準について」の説明。

- ・ 地域主権第2次一括法において、図書館法の一部改正が行われ、図書館協議会委員の任命基準を条例で定める必要が生じたこと。
- ・ 条例で定めるにあたっては、文部科学省の省令を参酌することとなること。
- ・ 文部科学省省令では、公募委員という考え方がないため、そのような考え方をうい
ないでよいか協議するもの。

【委員長】 本件については資料が事前送付されていた。委員からの質疑をお願いします。

【教育長】 第15条の削除の趣旨は、基準であるので省令に任せるという考え方か。

【事務局】 そうである。

【事務局】 全く同様ではなく省令を、参酌すべき基準とすることとなった。

【委員】 公募委員を加えるとなった場合、委員の数は今より増えるのか。それとも今の数のままで内訳が変わるのか。

【事務局】 図書館としては、1名増となると考えている。

【委員】 国でパブリックコメントが行われたとのことであるが、それは、何に対するパブリックコメントなのか。

【事務局】 国の省令に対するものである。

【委員】 他団体の流れはどうなのか。

【事務局】 県内他都市は未定である。

【事務局】 先般、全国図書館協議会に参加し、その分科会では公募委員について、とりいれるべきではないかという方向での積極的な意見交換がなされていた。

【教育長】 図書館としては、必要と考えるのか。

【事務局】 市民のご意見は必要だと考えている。ただ、事務局としても、公募を行って、応募があるのかという不安は正直ある。

【委員】 公募委員の考えを活用したいという意味が、何らかの特定のことに對して、一定期間ご意見をいただくという趣旨であれば理解しやすいが、通常の運営に関して、常時公募委員からご意見をいただくということについては、どうなのかと思う。場合によっては、偏った考え方が出てくることも危惧する。常時の公募委員は困難ではないのか。

【委員】 時代的な背景もあるのであろうが、佐世保の状況を考慮した場合、まだ困難だと考える。

【委員長】 私も、公募は必要ないと思うが、各委員いかがか。

【委員】 特定の人とならないよう、各団体から代表をお願いするにしても、任期を短くする等の運用で、多様なご意見をいただけるのではないか。

【委員長】 本件は協議事項であるので、結論ではないが、公募委員を入れない方向で条例策定をお願いしたい。続いて報告事項をお願いする。

◆報告事項

① 「生涯学習のまちづくり推進計画（案）」について

② 平成24年成人式典の開催について

この2件については、社会教育課の所管となるため、一括して説明。

～ 質疑は以下のとおり ～

【委員】 生涯学習のまちづくり推進計画についてであるが、ひとつは生涯学習を担う職員の意識に関わってくる。そういう観点で申せば、教育委員会内部だけの職員ではなく、市長部局まで取り込んでいかないといけないのではないか。そうやって、市全体に広げて実りあるものにすべきではないだろうか。

【事務局】 我々も、教育委員会だけでできるものではないとは認識している。社会教育委員の会議でも同様のご意見をいただいている。

現在行っている施策として、まちづくり出前講座があるが、これは、全部局にまたがった活動である。様々なところから派遣のご要望をいただいている。このような実績を積み重ねているところである。

【委員】 計画書の13ページの学習機会の充実の部分についてであるが、大変良いことが記載されているが、現実に行うことが可能なのか。現在も、様々な団体が様々な学習を行っている。今も情報がまとまっていない。情報の一元化、または発信をどういったツール、手法を用いて行うのか。そのあたりの事は、社会教育委員の会議ではどのような議論になっているのか。

【事務局】 分かる範囲だけでも集約したいと考えている。県の学びネットのようなものを考えている。パソコンを使えない方にも紙ベースのものを配布したい。とにかく情報一元化が必要であるという観点からの書き込みである。今は、個別にバラバラにやっている状態であり、行政も学校で何をやっているのか分からないという状況がある。

【委員長】 市民が気軽にネットで検索できるシステム構築を目指すべきと考える。

【教育長】 市長部局においては、文化振興課で団体の資料を作っている。それをこちらでも求めるなどの手法もある。

【事務局】 生涯学習推進計画のワーキング会議において、総合教育センターが携わりたいという意見が出ている。スポーツ部門ともリンクしていきたいという意見も出ていた。

【委員長】 成人式典について、何か要望等はあるか。

【教育長】 地元の警察署長と、先般協議したところ。密接な連携をし、予防を徹底的にやるということで意思統一を図った。

③ 第62回小柳賞佐世保シティロードレース大会（1/8）の開催について

～ 質疑は以下のとおり ～

【委員長】 参加者数は何名か。

【事務局】 2, 125人である。

【委員長】 昨年度と比較してどうなのか。

【事務局】 ほぼ同数である。

【委員長】 本年度、コースが変わるという説明であったが、先ほどの説明のコースでは、道が細いのではないか。

【事務局】 広くはないが、バスが通る道であるため、問題ないものと考えている。

【教育長】 コースが変われば、はじめて受け入れる施設もあるのではないか。地元への説明は行っているのか。

【事務局】 特に説明はしていないが、全体の中では了承を得ているものと考えているが、直接、個別の説明を行ったということはない。ただ、ご協力をお願いすることもあるので、事前に説明等もさせていただければと考えている。

④ 東部スポーツ広場体育館（仮称）建設の進捗状況について

～ 質疑は以下のとおり ～

【委員】 トレーニングルームについては、大きさ的には中途半端な大きさだと感じる。

【事務局】 そういわれても仕方がないと思う。

【委員長】 他都市でこのクラスの体育館の場合、売店等のスペースはないのか。国体の会場となるのであれば、必要ではないのか。

【事務局】 売店のスペースを設けることは考えていない。自動販売機のみ置けるスペースをつくることとしている。

⑤ 小値賀・佐々両町の佐世保市中学校体育大会への参加について

～ 質疑なし ～

⑥ 平成24年度図書館カレンダーについて

⑦ 盗難書籍の被害届提出について

～ ⑥、⑦は図書館の所管であり、一括説明。質疑は以下のとおり ～

【委員】 盗難は多いのか。

【事務局】 毎年、年1回リストと現物を照合している。その際、昨年度でいけば846冊の不明本があった。状態は様々であり、盗難もあるかもしれない。

【委員長】 不明本とは何か。貸出以外で不明となっているものも多いのか。

【事務局】 かなりある。

【委員長】 高額なものもあるのか。

【事務局】 ある。先ほどの800冊のうちでいえば25～6冊程度。

【委員長】 市民の税金で購入しているものである。対応を考えないといけない。例えば勝手に持ち出せないようICタグをとりつける等の措置をとれないのか。

【事務局】 そのようなことを行いたい、全部につけた場合、60,000千円ほどか

かるという試算であり、財政状況から導入は厳しい。

【委員長】 全部ではなくて、高額な本だけでも考えられないのか。

【事務局】 出入口に機械を設置する等、それでもコストがかかる。バーコードを付けていてもちぎってもっていくケースもあるようだ。

⑧ 【追加：会次第になし】「徳育推進のための行動計画」（素案）について

～ 質疑は以下のとおり～

【教育長】 最初の懇話会の際、座長をした。委員の皆様には大変御苦勞をかけ、ここまですべてたどり着くことができた。推進会議のメンバーを選ぶことにも、例えば、宗教をどのように考えるのかなど、苦勞した状況があった。

今日説明した案をご協議いただいて、対外的にすぐ動き出すのが、民間運動とすべきかということもあり、民間に事務局を置くことを考えている。候補としては、佐世保市教育会と考えている。相手先に正式に依頼する必要もあるため、早急にその部分を決める必要がある。委員各位のご了解をいただけるのであれば、早急に話をしたいと考えている。

ただし、補助金を出すこととなるのであろうが、危惧されているのは、行政が投げっぱなしにならないかということがあり、その部分については、行政も一緒になって活動していくことが肝要であろうと考える。

市議会に対する説明も今後出てくることとなるが、それ以外にも市民憲章の改定ということも視野に入れる必要がある。過去、昭和40年代に市民憲章を定めた時、メンバーに市議会の議員におはいいりいただいて、激論が交わされている。

【委員長】 他に何か意見はないか。なければ、この案のとおり今後進めていただくことでよいか。

～ 異議なし ～

～ その後、事務局側から、オブザーバーである深町なお氏に対する自己紹介を行った。

◆その他

次回日程調整

【事務局】 次回の日程調整についてお諮りする。教育長報告であったとおり、現在、新年度

予算策定の作業に取り組んでいるが、財務部長ヒアリングが1月5日から1月10日までの間に行われる。

その際に、教育委員各位のご意見を反映させたいと考えているため、1月前期教育委員会を開催し、平成24年度予算を議題として計上することで調整してよいか。

～ 異議なし ～

―― 了 ――